

科目名	英語 3				
授業形態	演習	学年	1		
開講時期	2022 年度 後期	単位数	2		
担当教員	若林 達司				
内容および計画	<p>教養基礎科目における英語科目の設計について</p> <p>会津大学短期大学部教養基礎科目の国際コミュニケーションカテゴリーには、英会話やフランス語の他に英語科目が4つ設置されています。まずはそれらの内容の違いを理解した上で英語科目の履修計画を立ててください。</p> <p>「英語Ⅰ」はリーディングスキルを修得するための授業です。簡単に言えば文章読解ですが、単語や熟語の意味を調べ、文の意味を和訳するという英語文章の基礎的作業に留まりません。キーセンテンスを軸にした段落の内容を掴んだり、接続詞マーカーを見抜いたり、事実と意見の部分を分けて理解するなど大学以上で求められる知的な読解術を学びます。</p> <p>「英語Ⅱ」は発展的な文法の授業です。高校や受験で勉強した文法の知識をもとに、精確かつスピーディーな英文解釈ができることを目指して英語の文の構造を理解します。</p> <p>「英語Ⅲ」はリスニングトレーニングを行うための授業です。リスニングの基礎になる発音練習も同時に行いつつ、英語独特の聞き取りにくさを理解します。</p> <p>「英語Ⅳ」は発音練習に特化した授業という位置づけです。学生は英語発音の基本である子音と母音のメカニズムを知り、さらに発展的に音声の脱落や短縮などの日常的に用いられる発音方法を学びます。</p> <p>英語Ⅳ リスニングトレーニング</p> <p>この授業ではリスニングの妨げとなる「自分の発音」を強化すること、発音のそもそものメカニズムを学ぶことを基本にしています。リスニングするのは発話された言語（英語）です。したがって、その英語がどのような発音になっているのかを学び、その発音に自分の発音を近づけることがリスニング強化の第1歩です。授業では、こうしたメカニズムを解説し、次にその発音を実際にやってみることが前半の作業です。次に後半ではそうした発音が聞き取れるようになったかを確認するリスニング問題に挑戦します。</p>				
1	子音連続の発音とリスニング				
2	短縮された音の発音とリスニングー助動詞の短縮				
3	短縮された音の発音とリスニングー否定語 not の短縮				
4	短縮された音の発音とリスニングーbe 動詞部分の短縮				
5	同化した音の発音とリスニングーmeet you、did you などの部分に見られる音の変化				
6	同化した音の発音とリスニングーcan you、have you、ask you などの部分に見られる音の変化				
7	同化した音の発音とリスニングーwant you=wanna、going to=gonna などの部分に見られる音の変化				
8	同化した音の発音とリスニングーhave got to(gotta)、has got to(~'s gotta)などの部分に見られる音の変化				
9	弱くなる音の発音とリスニングー冠詞、前置詞、助動詞、be 動詞、人称代名詞など				
10	弱くなる音の発音とリスニングー接続詞、関係詞、不定形容詞、完了形で用いられる been				
11	脱落する音の発音とリスニングー曖昧母音の脱落、/t/、/d/の脱落				
12	脱落する音の発音とリスニングー同一子音、同一調音点子音などの脱落				
13	音の連結 linking の練習（1）				
14	音の連結 linking の練習（2）				
15	有声音化した音の発音とリスニングーフラップ音				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	Essential Listening Skills for College Students	Shukei Funada	Asahi Press	978-4-255-15652-1	2012
参考書	特に指定しません。				

成績評価		
	評価方法	割合(%)
	各回の授業における課題提出（15回分）	100%
学習到達目標	以下の各項目について到達目標を定めます。 1 子音連続を含む語のリスニングができる 2 短縮音を含む語のリスニングができる 3 同化音を含む語のリスニングができる 4 弱音化した語のリスニングができる 5 脱落した音声を含む語のリスニングができる 6 連結した語を含む文のリスニングができる 7 有声化した語を含む語のリスニングができる	
先修条件	特に設けません。 「英語Ⅰ」は前期のみ設定、「英語Ⅱ」、「英語Ⅲ」、「英語Ⅳ」は後期のみを設定しています。ⅠからⅣの数字は授業の目標と内容の違いを示すものです。難易度やレベルの差を示したものではありません。各学科の卒業要件に沿って必要な単位数を確保できるように時間割の編成をしてください。	
実務経験		
その他	学生はインターネットをはじめとしたメディアを利用して様々な方法で問題解決に臨んでください。	